

真に価値ある投資は市民の暮らしを守ることにこそ 日本共産党議員団の平良木議員が国宝の太刀購入準備予算で反対討論

市議会9月定例議会が27日、終わりました。最終日は各常任委員長の報告、討論、採決が行われました。

議案の討論では、各会派を代表し5人が登壇しました。日本共産党議員団からは平良木哲也議員が登壇し、昨年度の一般会計決算等9つの議案について反対理由などを述べました。

このうち、紙面の都合上、今議会で一番注目された案件、太刀購入準備予算（今回、この関連で補正された金額は38万円。そのうち10万円は、募金活動などを行う市民団体への負担金です。残りの28万円は、取得に向けたふるさと納税パンフレットの印刷費）を含む今年度一般会計補正予算についてだけ紹介します。この案件は、日本共産党議員団（4人）だけが反対、他の議員は賛成となり、賛成多数で可決されました。



採決に先立つ討論では、日本共産党議員団の平良木議員が、「この刀剣の取得については、市民の間でも賛否の意見が分かれているところだが、まず市民の意見をしっかりと聞いてから事を起こすことが必要。（市は）取得を前提にした予算を提案したが、順序が逆だ。まずとことん市民の意見を聞いた上で、関連予算を計上すべきであり、市民の声を（十分）聞かずに予算化することには反対だ。私たちがもとに寄せられた市民の声は、その圧倒的多数が、

多額の費用を負担しての国宝の購入よりも、まず暮らしをしっかりと守ることにお金を使ってほしいというものだった。『将来への価値ある投資』と言うが、本当に価値ある投資は、市民の暮らしを守ることにこそあると訴えました。

今回の補正予算に賛成した議員は、「またとないチャンスだ。この機を逃してはならない。愛刀の取得を大いに支持する」（公明党・山田議員）、「投資にとつて千載一遇のチャンス。入手に向けて積極的に動くべき。市長の判断は適正だ」（創風・大島議員）、「国宝が戻ってくることはたいへんありがたい。本物があることは歴史の証明にもなる」（みらい・永島議員）、「総括質疑や一般質問した（私たちの会派の）議員も基本的には取得に賛成。市民の宝として多くの市民が期待している」（新政・草間議員）などとのべました。

私の一般質問でも国宝の太刀取得問題の経過などをただす

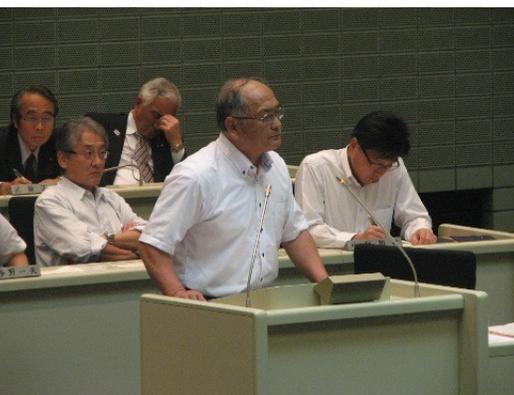
私の今回の一般質問では国宝「太刀無銘一文」（号 山鳥毛）取得問題、大詰めを迎えているTPP協定問題、地域おこし協力隊をとりあげました。質問は太刀取得問題を中心に行いました。

いつも1回目の質問に約15分をあてて、その後、一問一答に進むやり方をしていたので、今回は1回目の質問を大胆に短くしました。約6分です。

質問は太刀取得についてのこれまでの経過を丁寧にたどり、事実関係をはっきりさせること、市民説明会には市教委だけでなく、市長も参加してもらうようにすること、そのふたつを獲得目標に展開しました。太刀所有者との3回



【シラネセンキュウ】セリ科の多年草。漢字で「白根川芎」と書きます。この花も秋の野の花の中では、私が大好きな花のひとつです。沢沿いなどで白い花をしっかりと咲かせています。



にわたる面談の内容や所有者が文化庁に提出した「売渡しの申し出」が本年6月25日に提出され、「国は買い取らない」という通知が出たことも明らかになりました。この結果、上越市が太刀所有者と交渉に入る重要な条件のひとつが整ったことになりました。

今回の国宝取得問題で私が強く主張したのは、市民の声をしっかりと聴いて対応することです。市民に理解させるといふ姿勢ではなく、市民の声次第では方針変更もありうるという立場で臨むよう求めました。私が提案したWEBアンケートには否定的でしたが、市長が市民説明会に参加する感触を得ました。上越タウンジャーナルが行ったWEBアンケートでは上越市民の47%が購入に反対していることが明らかになりました。その主な理由は税金の使い方です。ぜひ市長に参加してほしいですね。

質問が終わってから、廊下である幹部に言われました。「まるで警察の取り調べを受けているようだ」という声が出ていたよと。一問一答を延々と続けたので、そう見えたのでしようが、ごり押しをしてはダメという姿勢で質問しましたから、それはしようがないことです。

はしづめ法一の活動レポート

No.1776 2016.10.2
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第四二二回

確かめる

いったん気になりはじめたら止まらない。野の花のことになると、どうしてこういうことになるのか、自分でもあきれられるほどです。

先日、直江津の石橋にある「あひる」という食堂に行ったときのことです。舗装してある駐車場はすでに満車で、お店の西側にある砂利をひいた駐車場に車を止めました。車のドアを開けたところ、きれいな赤い花がすぐ目に入りました。花の形からして「これはゲンノシヨウコにちがいない」そう思っただけで写真を撮りました。

撮った写真はフェイスブックというインターネット交流サイトに一時間ほど経つてから投稿しました。赤色のきれいなゲンノシヨウコをぜひ多くの人たちに見てもらいたいと思っただけです。

花の写真はたびたび投稿していますが、たいがいは投稿すればそれで終わりとなりません。ところがこの日は、投稿した後も気になって何度かその花の写真を見ました。見てみるうちに疑問がわいてきました。疑問に思ったのは葉の形です。葉に切れたところがなく、どう見てもゲンノシヨウコのものとは思えません。この葉は見たことのあるものですが、名前が浮かびません。

ただ、名前こそ浮かびませんでした。その葉を見つけたときは鮮明に覚えていました。尾神岳のふもとにある大出口泉水の近く、雑木林の裾というか土手を上がったところに白い花が咲いていて、その野草の葉の形は独特でした。そこで、私のホームページにある「野の花のページ」で探してみましたところ、名前がハッキリしました。ミヤマカタバミだったのです。

いうまでもなく、ゲンノシヨウコとミヤマカタバミの葉は完全に違います。ゲンノシヨウコの葉は掌のようになつた掌型（ししようがた）で、いくつかに深く切れていきます。一方、ミヤマカタバミの葉はチヨウが羽を開いたような形をしていて、ハート型に見えることもあります。大出口泉水の近くで初めて出合ったときは、花だけでなく、この葉の形にも惹かれました。

さて、そうなる、「あひる」の駐車場にあつたゲンノシヨウコの葉の形はどうなのか気になります。これはインターネットで調べるわけにはいきません。現地で確かめるしか方法はないのです。

翌日の午前、私は、木田方面へ出た際、「あひる」の駐車場に向かいました。写真を撮った場所に行くと、間違いなくカタバミの葉がたくさんありました。そして、その真ん中あたりで赤い花が咲いていました。「不思議だなあ」と思いながら、カタバミの葉をどけて、あつと思えました。赤い花のゲンノシヨウコの茎は長く、根に近いところで、やはりゲンノシヨウコの掌形の小さな葉がついていたのです。

なんのことはありません。ゲンノシヨウコがたぐさんのカタバミの葉を押しつけて赤い花を咲かせていただけなのです。「なんで、そんなこと最初に気づかなかったのか」と思われるかも知れませんが、私も、私と野の花の出合いは発見を伴うものが少なくありませんでした。これまで見たものちよつとの違いの発見が、新しい花との出合いにつながっていたのです。どうしても初めての出会いを期待してしまいます。

野の花との出合いはいつもドキドキ、ワクワクです。今回は、いつも見かけるものと違った葉をつけたゲンノシヨウコとの出会いとはなりませんでしたが、疑問が解けたときの喜びは小さくはありませんでした。

上越市消防団員の報酬、全額支払いは25%

◎ 222 消防部における団員の報酬の支払い状況

支払状況	団員数
I 現金による全額支払い：48部 (21.6%)	1,114人 (25.5%)
II 現金による一部支払い：91部 (41.0%)	1,829人 (41.8%)
III 現金による支払いなし：67部 (30.2%)	1,111人 (25.4%)
IV その他：16部 (7.2%)	319人 (7.3%)
合計	4,373人 (100%)

市議会総務常任委員協議会で27日、上越市消防団員の報酬に関するアンケート調査結果が明らかにされました。この調査は6月の総務委員協議会で私が市当局に求めているもの

です。調査は各消防部の部長222人を対象に行つたものです。

調査結果、現金による全額支払いがされているのは48部(1114人、25.5%)、現金による一部支払いは91部(1829人、41.8%)、現金による支払いなしは67部(1111人、25.4%)、その他は16部(319人、7.3%)となっています。市では、「明文化された会計ルールがない」(91.4%)「報酬を全額消防部の運営経費に充てている」(30.2%)などの問題点が浮き彫りになったとして、透明性の向上、情報伝達の向上、事務執行体制の強化などを図っていくとしています。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	9月21日(水)	9月28日(水)
上越南消防署	0.047	0.057
上越北消防署	0.050	0.057
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.043	0.060
頸南消防署	0.047	0.040
東頸消防署	0.053	0.047
高士分遣所	0.057	0.043
名立分遣所	0.057	0.057

市の説明後の質疑で、私は、「現金による全額支払い、現金による支払いなしは団員の実数ではどうなっているか」「消防部に残したお金を消防部の必要経費として使っているケースが多いが、必要経費の中には本来、市費で対応すべきものがあるのではないか」などを問いただしました。報酬支払い状況の実数は、別表の通りです。また、消防部の必要経費の中には長靴やスノーダンプなど市費で払うべきものがあることも明らかになり、この点でいま一度調査し、「必要なものがあれば予算化する」ことが約束されました。